

第2回オープンキャンパスに 5668人が来場!

7月23日・24日に「第2回オープンキャンパス」が長久手・星が丘両キャンパスにて開催され、合計で5668人の来場者が愛知淑徳大学を訪れました。第2回オープンキャンパス限定で行われた「模擬授業」や「公募制推薦入試対策講座」では、多くの方が熱心に受講する姿が見受けられました。

また、各学科・専攻の教員が魅力を伝える「学科・専攻説明」、入試方式や併願方法などを知ることができる「入試説明」などの企画も好評でした。

さまざまな企画内容で、愛知淑徳大学の学びを体感することができた2日間。来場した皆さんは、充実した1日を過ごされていたようです。



「三分一博志展 風、水、太陽」 愛知巡回展

都市環境デザイン専修では、毎年、著名な建築家の展覧会を誘致しています。その会場の設計から施工までを学生の手で行う「デザインワークショップ」は、全国でも珍しい授業であり、空間設計やグループワークの貴重な実践の場となっています。

今年度、コラボレーションしたのは建築家・三分一博志氏。風や水、太陽を「動く素材」と捉えて「建築がいかにして地球の一部になりうるか」をテーマに設計しています。そんな三分一氏の建築観が伝わる展覧会にしたいと、学生たちは互いのアイデアや設計の知識・技術を出し合い、約3カ月間、会場づくりに全力を注ぎました。7月25日から16日間の会期中、三分一氏も訪れ、学生の柔軟な発想を高く評価しました。



2017年4月 健康栄養学科が新設

健康医療分野のプロフェッショナルを輩出してきた健康医療科学部に、2017年4月、健康栄養学科が誕生します。この度、文部科学省より設置認可を受け、新設が正式に決定しました。この学科の目標は、医療、福祉、介護などの幅広い現場で活躍できる管理栄養士の育成です。学内に医療機関や保育室を持つ本学独自の環境を活かして実践的な学びを展開し、「栄養」と「食」に関する高度な専門性を養います。また、2017年3月には、健康栄養学科の専用棟が完成します。臨床栄養学実習室、栄養教育実習室、給食経営管理実習室、理化学実験室、国家試験関連図書を配架した専用ライブラリーを設け、より積極的な学修・研究を支えます。



「教志会」第2回総会

愛知淑徳大学は教員養成の伝統校として、これまでに延べ1000人を超える卒業生を教育現場に送り出してきました。その実績をさらに発展させるため、2015年8月、「教育に志す者の会（教志会）」が発足しました。教職を志望する在学生・卒業生と、教職に就く卒業生・教職に就いていた卒業生が「共に学び合い、互いに支え合う場」をめざす組織です。

8月6日、第2回の教志会総会が星が丘キャンパスで開催されました。星有子会長の挨拶の後、平成28年度教志会役員案の提案・承認、平成27年度事業報告、平成28年度事業計画案の提案・承認が滞りなく執り行われました。

続いて本学名誉教授・富安玲子先生による講演会「聴き上手は子どもの心を育てる」が開催されました。子どもには行動を表す「doing」と心の動きを表す「being」の二面性があることを解説した富安先生は、「子どもたちがその言動や態度に至った『being』を想像し、考えていくと、子どもの本心と向き合える『聴き上手な先生』になれるでしょう」と在学生や現役教員である卒業生に語りかけました。

総会の後には、教志会学生会部のメンバーが司会進行役を務め、情報交換会を行いました。在学生と卒業生が教育について意見を交わし、双方の「教職をめざす志」「教職を一生の仕事として続けていく志」を高めました。



2回情報交換会



後口伊志樹先生が「瑞宝双光章」を受章

平成28年春の叙勲において、本学の前教職・司書・芸員教育センター長の後口伊志樹先生が「瑞宝双光章」を受章されました。

後口先生は公立高校の校長などを歴任した後、教育現場での経験を活かして本学の教職課程の充実に尽力されました。そしてこの度、長年の功績が称えられ、愛知県の教育功労者として輝く榮譽を受けられました。「生徒たちと接し、一人ひとりの成長に寄り添ってきた、その教師人生を評価していただき、胸が熱くなりました。教職の道を志す皆さんには、『教師をめざすこと』は、一生涯続ける覚悟を持つこと」とお伝えしたい。共に、教育の何たるかを追究していきたい」と学生たちへの思いを語りました。



公開講座「夏休み子ども水泳教室」開催

7月25日、27日、28日の3日間、エクステンションセンターの初めての試みとして、幼児・小学生対象の公開講座「夏休み子ども水泳教室」を開催しました。場所は、今年4月に長久手キャンパスに完成した屋内温水プール。愛知淑徳水泳学校のコーチが、一人ひとりに合わせたきめ細かい指導を少人数制で行い、盛況のうちにすべてのレッスンを終えることができました。子どもたちからは「コーチの説明がとても丁寧でした」「きれいなプールで泳げうれしい」、保護者の方からは「大変気に入ったので是非とも長期で習わせたい」との声が数多く寄せられました。今後も、公開講座として継続して実施していく予定です。



2015年度 留学生別科修了式



5月20日、国際交流会館にて留学生別科の修了式が行われました。今年度は10人の修了生と1人の認定者が留学生別科での勉強を終え、斎藤副学長から修了証書を受け取りました。修了生を代表し、中国・天津外国語大学からの交換留学生、李瑛(リ エイ)さんが、留学生活におけるさまざまな思い出を振り返り、別科教員、友人、国際交流センタースタッフへの感謝の気持ちを伝えるスピーチを日本語で行いました。スピーチの最後は、愛知淑徳大学で出会った人たちとの再会を願う一言で締めくくられ、式に参加した多くの人たちの感動を誘いました。修了式の後にはティーパーティーが開催され、修了生たちは別科教員や日本人の友人たちと楽しいひと時を過ごすことができました。

夏山登山



8月1日～5日、中1から高3の44人で北アルプス白馬岳に登ってきました。愛知淑徳の夏山登山では、高校生の班長を中心に学年を超えて班をつくり、助け合って登ります。今回は榎池高原から入山後、白馬大池を経て白馬岳に全員登頂し、北アルプスの大パノラマを楽しみました。暖冬の影響で例年になく残雪が少なかったのですが、白馬岳山頂付近では高山植物が見事に咲き、夜には満天の星空が楽しめました。下山は白馬大池まで往路をたどり、そこから蓮華温泉を経由し、全員無事に下山することができました。

イングリッシュセミナー



8月16日～18日に長野県木曾郡木曾町にて行われ、中2から高1までの34人が参加しました。豊かな自然に囲まれた静かな町で、朝晩はペンションで、日中は公民館周辺でAC(アメリカンカウンセラー)9人によるさまざまなプログラムが実施され、終始和気あいあいと英語漬けの生活を彼らと共にしました。最初は内気で喋れなかった生徒達も、徐々に失敗を恐れず笑顔で英語でコミュニケーションをとるようになっていきました。ACと接することで、言語だけではなく、アメリカならではの考え方・表情・表現の仕方・話し方・文化などを学ぶことができ、普段学校では学ぶことができない大変貴重な体験ができたことと思います。

中2 林間研修

5月9日～12日、飛騨一ノ宮にて民宿泊、小坂にて淑友館泊、最終日には高山研修という2泊3日の林間研修を実施しました。民宿では、五平餅・おはぎ作り、ナイトハイク、田植えなど、初体験の連続。生徒は歓声を上げながら挑戦を楽しみました。淑友館では4月から準備してきたキャンプファイヤーでのスタンツをクラスごとに披露。仲間と親睦を深めるとともに、ご家族より預かった手紙を読み、返事を書くというプログラムにも心静かに取り組みました。高山研修では、班ごとにプランを作成して高山陣屋や博物館などをめぐり、お土産選びも満喫していました。これらの経験が今後の行事への取り組みにつながることを願っています。



2016年度 中学校オープンスクール

6月4日に、中学校オープンスクールを開催しました。曇り空でしたが、とても過ごしやすい午前でした。大アリーナ舞台上で演奏、管弦楽、合唱、バトントワーリング部の生徒の発表、学校・入試の説明を行った後、ミニ体験授業やクラブ・同好会の見学や体験が行われました。当日は過去最高の2427人の参加があり、各会場も賑わいました。中3をはじめ約700人の生徒が小学生とその保護者をお招きし、その明るく丁寧な対応が好評でした。来年度は、6月3日を予定しています。ぜひ、ご参加ください。



2016年度 愛知・岐阜私立中学校進学フェア

7月23、24日に愛知・岐阜県内の私立中学25校が参加して「私立中学フェア」が実施されました。今年会場をミッドランドスクエアにした効果が表れたのか、来場者数は昨年を608人上回り、5830人でした。本校のブースには両日とも次々と小学生や保護者の方が訪れ、熱心に質問し、説明に耳を傾けていました。23日の午後は、B1のアトリウムで管弦楽部の美しい演奏の音色に大勢の人が聞き入っていました。24日の生徒ディスカッションでは生徒会長が参加。それを熱心に聞いている小学生がいました。また、愛知淑徳の教育をお知らせする場として2日での4回の学校プレゼンテーションがありましたが、多数の方の参加があり、私立中学への熱い期待が伝わってきました。

